

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所6号機圧力抑制室での ビニール片の発見・回収について

平成17年12月28日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所6号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）につきましては、平成17年12月21日より第19回定期検査を実施しておりますが、圧力抑制室内においてグレーチング*¹修理のための準備作業中のところ、12月24日、協力企業作業員が、寸法測定のためグレーチングを動かした際、グレーチング同士を連結していた止め金具1個（ステンレス製のバンド：長さ約23cm、幅約1cm、厚さ約0.4mm）が、圧力抑制プール内に落下したことに気がつきました。（12月24日お知らせ済み）

引き続き、当該準備作業を実施していたところ、12月27日午後7時50分頃、圧力抑制プールの水面にビニール片（長さ約24cm×幅約0.3cm）を協力企業作業員が発見し、本日午前8時50分、回収いたしました。

6号機は、前回定期検査において圧力抑制室内の点検を実施しておりますが、今回回収したビニール片は、点検確認しづらい部位にあったものが移動してきたものと推定しております。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。

なお、落下した止め金具、および今後圧力抑制室内の作業*²において発見・回収したものについては、圧力抑制室内の作業工程毎にまとめてお知らせいたします。

以 上

*1 グレーチング

金属製の格子状の床。

*2 圧力抑制室内の作業

- ・12月21日～2月下旬 グレーチング修理作業
- ・1月上旬～2月下旬 圧力抑制室内機器点検・修理作業
- ・2月上旬～3月上旬 圧力抑制プール内水質浄化、プール内点検作業